

# がくしゅうかだい（2ねんせい）



【こくご】けいかくをたててすこしずつとりくんでいきましょう。

＜べんきょうすること＞

◆「たんぽぽのちえ」（きょうかしょ 42～47 ページ）にとりくみます。

- ① 42～47 ページを声に出して読みます。
- ② たんぽぽの花がかわっていくのには、わけがあります。そのわけを見つけて、このひょうにまとめましょう。  
（ノートやとりくみシートに、ひょうをうつしてもいいです。）

しめり気の多い 日や、雨ふりの日に は、わた毛のらっか さんがすぼむ。	たおれていた花 のじくが、またおき 上がって、のびる。	かれたあとに、白 いわた毛ができる。	たんぽぽの花の じくは、ぐったりと じめんにたおれる。	たんぽぽがして「ねい」と
			（れい） 花とじくをしずかに休ま せて、たねにえいようをお くっているのです。	わけ

※わけをあらわすとき、文のおわりに「～のです。」「～からです。」などの言葉をつかいます。その言葉に気をつけて、読んでみましょう。

◆あたらしいかん字「形(53 ページ)」～「同(56 ページ)」まで、とりくみます。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・たんぽぽがどんな知恵を働かせているのか、その理由をまとめていきます。もし、見付けられない場合は、理由を表す文末の言葉（～のです。～からです。）を教え、探してみるように声をかけてあげてください。
- ・クイズのようにお子さんに尋ねながら、学習する方法もあります。  
例) どうして花のじくがぐったりたおれるのかな。  
→お子さんが答えられたら「それって教科書のどこに書いてあるかな。」  
※どこに書いてあるかを答えることができれば、理由に気付くことができます。

さんすう  
【算数】

「※」は勉強するときの先生からのアドバイスです。

<べんきょうすること>

◆ひき算（くり下がりにし） （きょうかしよ 38～43 ページ）

文ぼうぐ かいにきました。のこりは 何円かな？

15円 もっている	画用紙 8円	15円をもっていて、8円の画用紙を買おうと 式 <input type="text"/> = <input type="text"/>
--------------	-----------	--

80円 もっている	ノート 50円	80円をもっていて、50円のノートを買おうと 式 <input type="text"/> = <input type="text"/>
--------------	------------	---

35円 もっている	シール 12円	35円をもっていて、12円のシールを買おうと 式 <input type="text"/>
--------------	------------	--

あれ？ 80-50のような 計算とも ちがうね？



35-12の 計算のしかたは どうすればいいかな？

下の 2つの計算のしかたについて わかりやすいほうの  
考えについて 声にだして せつ明 しましょう。

がのこり 2 ことで

がのこり 3 ことで

$\begin{array}{r} 35 \\ - 12 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 30 \\ - 10 \\ \hline \end{array}$	=	<input type="text"/>	のこりは
$\begin{array}{r} 5 \\ - 2 \\ \hline \end{array}$	=	<input type="text"/>	<input type="text"/>	

35-12を 位を たてにそろえて 書きました。  
位ごとに 計算しましょう。

十の位の計算  
 $3 - 1 = 2$

3	5
-	1 2
□	□

一の位の計算  
 $5 - 2 = 3$

※十の位の計算の  $3 - 1 = 2$  は、10が2こという いみになります。

※たいせつにしよう！

①位をたてにそろえて書く。  
②一の位の計算をする。  
③十の位の計算をする。

<れんしゅうもんだい①> 筆算で しましょう。

(1)  $46 - 32$       (2)  $78 - 50$

(1)		4	6	(2)		7	8				
		-	3	2		-					

<れんしゅうもんだい②> ノートに 筆算で しましょう。

- (1)  $59 - 17$       (2)  $73 - 40$       (3)  $95 - 15$

<この 勉強で、わかったことや、きづいたこと、  
おもしろかったところを、おうちのひとに お話ししてみよう。>

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆ひき算（教科書 P38～43）

- ・<はてな？>にある計算の仕方を、図などに置き換えて考えることは、筆算の意味を考える上で大切です。時間があれば説明を聞いてあげてほしいと思います。
- ・筆算の仕方についても、教科書 P42 のように、図を見て指をさしながら説明したりする活動を、時間のある時に取り組むことで、「なぜ、そのような手順で計算するのか」という意味をより深く理解することにつながります。

## 【たいいく】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめてとく組みましょう。

### ＜べんきょうすること＞

※動画を見られる場合は、右のQRコードを使ってください。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/nawatobi.html>



### ◆「なわとび」にとりくみましょう。

いろいろなとびかたで「まえとび」をしてみましょ。とびかたをくふうするだけで、なわとびがたのしく、じょうずになりますよ。

### ○まえとびのやりかた



まえとびのこつは、わきをしめて手くびをはやくまわすことです。わきに本をはさんでいるつもりでとびましょ。また、つまさきでちやくちするとじょうずにとぶことができます。

### ○ベル・スキー



ベル



スキー

ベルはぜんごにスキーはさゆうにとびましょ。

### ○ゲーチャヨキパー



まえとびをしながら、あしはゲーチャヨキパーでちやくちをします。

### ○ケンケン



まえとびをしながら、ケンケンをします。さゆうどちらでもできるようにしましょ。

※よゆうがあれば「うしろとび」など、ほかのとびかたにもちょうせんしてみましょ。くりかえしとりくめると、じょうずになりますよ。

### ＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

・跳んだ回数を数えてあげたり、こつをうまく生かして跳んでいる姿を褒めてあげたりして、継続して取り組む意欲へとつながるよう声をかけてあげてください。